

図表 2 SUMMARY OF INFANTS WITH PRIMARY HYPOTHYROIDISM
IN SCREENING TESTS

NOV' 75~DEC' 78

Case	Age, sex System (W)	Examination on recall			Diagnosis
		(TSH $\mu\text{U}/\text{ml}$)	(T_4 $\mu\text{g}/\text{dl}$)	(T_3 ng/dl)	
	Normal range	2.8 ~12.0	7.0 ~14.8	19.2 ~260	
1. K.S.	12 F A	528	2.2	105	ectopic
2. K.I.	6 F A	188	6.0	166	ectopic
3. Y.Y.	6 F B	680	4.9	202	ectopic
4. K.N.	8 F B	316	4.6	135	ectopic
5. H.O.	11 M B	2400	< 1.0	< 25	? autoimmune
6. K.I.	6 F B	1300	1.4	136	organification defect
7. M.K.	5 F B	555	3.5	108	ectopic
8. M.I.	2 F C	594	4.1	167	ectopic
9. S.H.	3 M C	350	6.1	194	ectopic
10. S.T.	4 M C	1500	1.0	107	organification defect
11. Y.I.	4 M C	> 320	1.0	80	
12. K.I.	5 F C	250	2.2	119	organification defect

B エンザイムイムノアッセイによる沓紙血液 T_4 測定法の開発

研究協力者

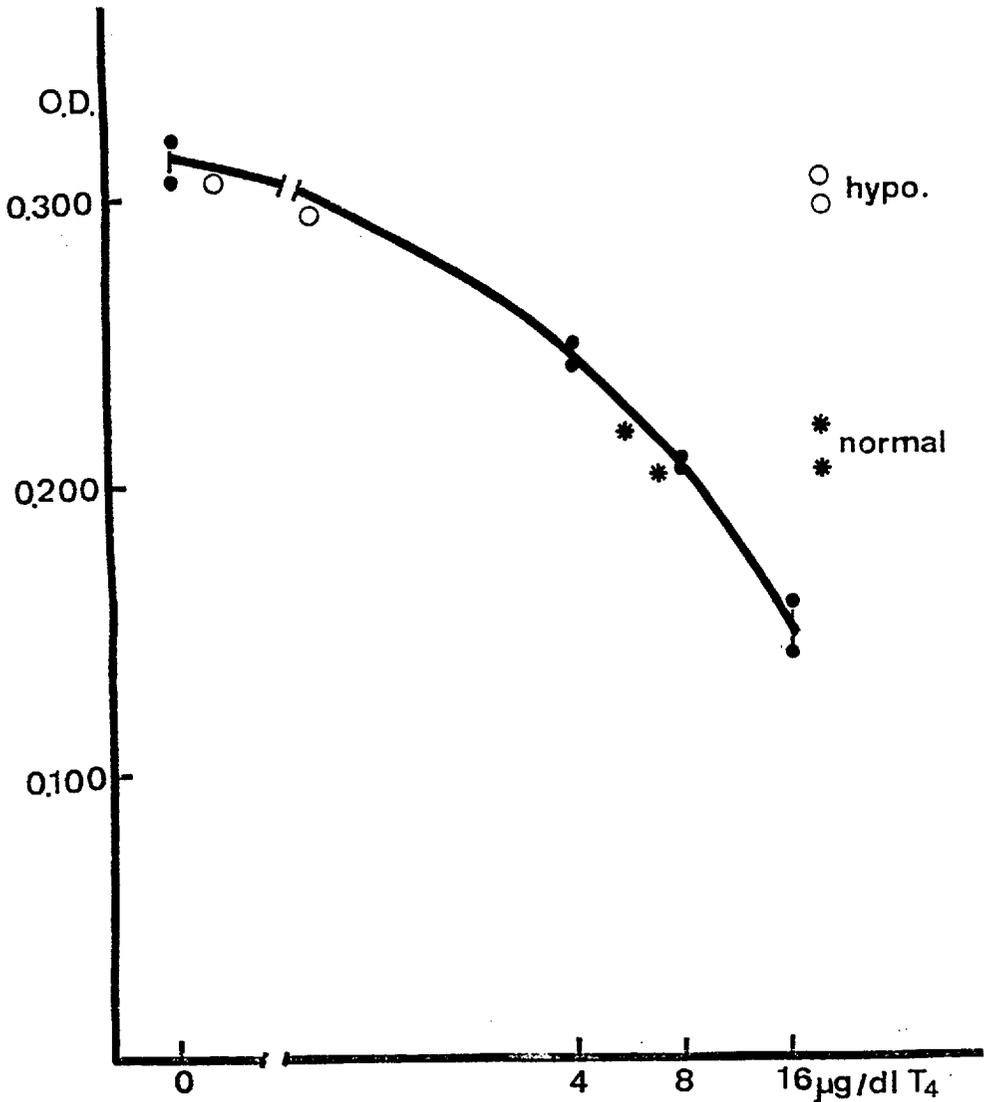
大阪大学中央臨床検査部 宮井 潔

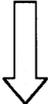
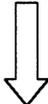
現在まで報告されている T_4 の enzyme immunoassay (EIA) は、EMIT system のように沓紙血液 T_4 を測定することはできない。そこで我々は新しく二抗体 T_4 EIAを開発した。血清 $100\mu\text{l}$ または、沓紙血液スポット (9mm径) から、ethanol 抽出を行なった後、抗 T_4 -BSA (carbodiimide法) 血清、alkaline phosphatase 標識 T_4 (glutaraldehyde法) を用いた heterologous EIAで、BF分離は二抗体法、酵素活性は Kind-king 変法を用いている。1-32 $\mu\text{g}/\text{dl}$ の標準血清または沓紙血液で検量線が得られ、(図表3) 血清に関する測定の変動係数は 5.9-7.3% (日内) 7.0~12.6% (日差)、RIAとの相関係数は $r=0.98$ であった。実用化にはなお改良を要するが有望な方法と思われる。

発表論文

Miyai, K., Ishibashi, K., Ogihara, T., Tanizawa, O., Nisbi, K., Kawashima, M., and Kumahara, Y. : Evaluation of enzyme immunoassay of hormones for clinical application : Enzyme Labelled Immunoassay of Hormones and Drugs. : Ed by S.B. p. 1. p. 287 Walter de Gruyter, Berlin. New York. 1978 —

図表 3



 **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

現在まで報告されている T4 の enzyme immunoassay(EIA)は、EMIT system のように濾紙血液 T4 を測定することはできない。そこで我々は新しく二抗体 T4 EIA を開発した。血清 100 μ l または、濾紙血液スポット(9mm 径)から、ethanol 抽出を行なった後、抗 T4-BSA(carbodiimide 法)血清、alkaline phosphatase 標識 T₄ (glutaraldehyde 法)を用いた heterologous EIA で、BF 分離は二抗体法、酵素活性は Kind-king 変法を用いている。1-32 μ g/dl の標準血清または濾紙血液で検量線が得られ、(図表 3)血清に関する測定の変動係数は 5.9-7.3% (日内)7.0~12.6%(日差)、RIA との相関係数は $r=0.98$ であった。実用化にはなお改良を要するが有望な方法と思われる。